

各位

不動産投資信託証券発行者名

積水ハウス・リート投資法人

代表者名 執行役員

木田 敦 宏

(コード番号：3309)

資産運用会社名

積水ハウス・アセットマネジメント株式会社

代表者名 代表取締役社長

阿 部 亨

問合せ先 IR部長

齋 藤 孝 一

TEL. 03-6447-4870 (代表)

FIT 非化石証書の購入による実質再生可能エネルギー由来電力の導入に関するお知らせ

積水ハウス・リート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、仲介事業者を通じて一般社団法人日本卸電力取引所再エネ価値取引市場（以下「本市場」といいます。）においてトラッキング付き FIT 非化石証書（以下「FIT 非化石証書」といいます。）を購入することにより、実質再生可能エネルギー由来電力を導入（以下「本取組み」といいます。）しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

(注) 「FIT」は、「Feed-in Tariff」の略であり、再生可能エネルギーの固定価格買取制度をいいます。

記

1. 本取組みの概要

本投資法人は仲介事業者である株式会社ホールエナジーを通じて、本市場において FIT 非化石証書 1,025 MWh を購入し、実質的に再生可能エネルギー由来の電力を導入することにより、CO₂排出量約 418 t-CO₂ (注) を削減しました。なお、本取組みは本投資法人として初の取組みとなります。

(注) 本投資法人が保有する住居「プライムメゾン江古田の杜」の共用部の電力使用に係る CO₂排出量 (2022年8月2日から2023年4月1日まで) に相当します。なお、CO₂排出量は積水ハウス・アセットマネジメント株式会社による試算値です。

<本取引の仕組み>



2. 本取組みの理由

本投資法人は、ESG（環境 (Environment)・社会 (Social)・ガバナンス (Governance)）へ配慮した不動産投資運用を通じて持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。

本投資法人は、ESG への取組みのうち環境における重要課題として特定したマテリアリティ「気候変動への対応推進」の課題解決に向けた目標 (KPI) (以下「本目標」といいます。) を下記のとおり掲げています。

<温室効果ガス（GHG）排出削減>

- ・中期目標（2030年度までに）Scope1、Scope2について総排出量を42%削減（2021年度比）
- ・長期目標（2050年度までに）ネットゼロを達成
- ・Scope3については、総排出量を算定し削減する

本取組みは、本目標の達成に向けた施策の一環として実施するものです。今後も引き続き FIT 非化石証書の購入について、温室効果ガス（GHG）排出削減及びネットゼロの達成に向けた施策の一つとして活用してまいります。

なお、本取組みを通じて、本投資法人は SDGs（持続可能な開発目標）の目標 7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、目標 13「気候変動に具体的な対策を」に貢献いたします。

【関連する SDGs】



3. 本投資法人の今後の対応

本投資法人は、ESG への取組みが社会的にも求められるなか、カーボンニュートラルへの意識の高まりによる入居者・テナントの需要変化への対応を事業機会と認識しています。今後も温室効果ガス（GHG）排出量の削減に向けた様々な取組みを推進することで、脱炭素社会の実現に貢献するとともに、保有物件の資産価値及び企業価値の向上に向けて取り組んでいく方針です。

本投資法人のESGへの取組みの詳細については、本投資法人の「[ESG特設サイト](#)」をご覧ください。

以上

※ 本投資法人のウェブサイト：<https://sekisuihouse-reit.co.jp/>